

経営比較分析表（令和3年度決算）

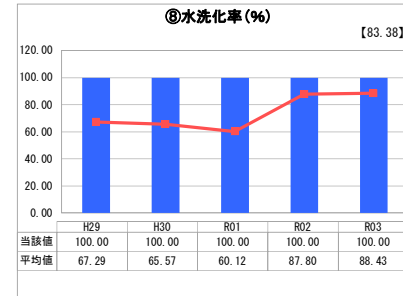
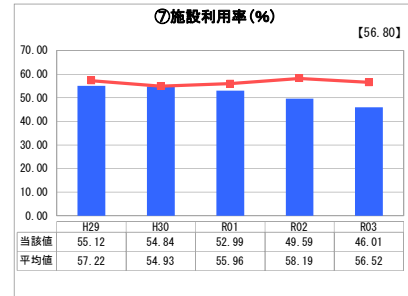
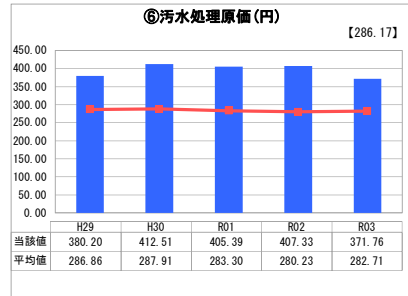
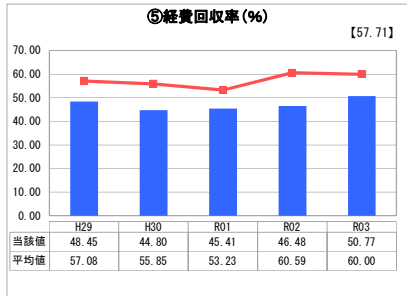
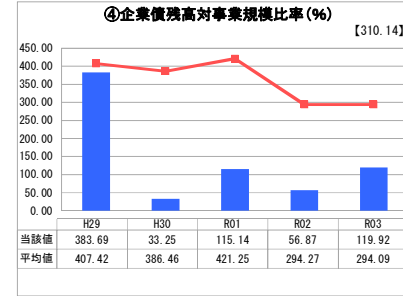
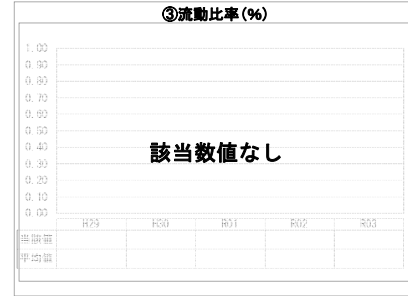
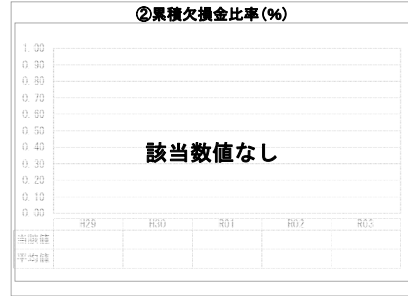
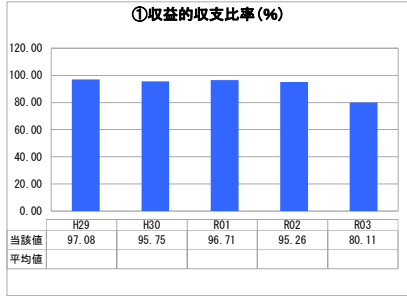
熊本県 五名市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.94	100.00	3,613

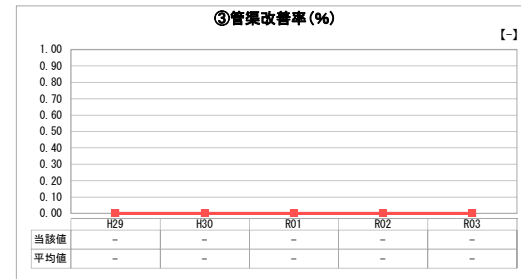
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
64,753	152.60	424.33
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
604	20.40	29.61

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・収益の収支比率については、100%を下回る状況が続いており使用料収入等の増加に比べ維持管理費や地方債償還金の増加が大きいため比率低下の要因となっています。
- ・企業債残高対事業規模比率は、全国平均及び類似団体に比べ低いものの前年度より地方債借入額の増加に伴い、事業規模比率が悪化しています。
- ・経費回収率については、類似団体及び全国平均より低い水準にありますが、平成30年度から毎年微増傾向であり引き続き汚水処理費の削減と使用料見直し等を検討します。
- ・汚水処理原価は、年間収水量の増加に比べ、汚水処理費の増加が大きいため高い数値となっています。全国平均及び類似団体と比較しても悪い状況にあります。
- ・施設利用率については、全国平均及び類似団体より低い状況で50%に満たない状況です。
- ・水洗化率については、全国平均及び類似団体を大きく上回り100%です。

2. 老朽化の状況について

- ・老朽化に係る課題は、検出されていません。

全体総括

- ・中長期的な視点から収入と支出のバランスを確保すべく経営戦略を平成28年度に策定し、見直しの5年目を迎えました。地域のバランスや平等性を考慮し、また、有識者による審議会の意見を伺いながら処理区の事業廃止等抜本的な見直しと経営努力を進めていきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。